

病 院 増 床 事 前 協 議 書

(顕修会すずらん病院)

病院増床事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏 名		医 籍 番 号		
住 所	TEL			
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区 分	開 設 ・ 管 理 ・ 勤 務		
	施設の種類	病 院 ・ 診 療 所	病 床 数	一 般 療 養 精 神 結 核 床
	名 称			
	所 在 地			
	診 療 科 目			

(開設者が法人である場合)

法 人 の 種 類	医療法人社団	設 立 年 月 日	平成 11 年 4 月 1 日		
名 称	医療法人社団頭修会				
主たる事務所の所在地	神戸市北区鈴蘭台西町2丁目21番5号 TEL078-591-6776				
代 表 者	氏名	稲見 修	住 所		
法人の目的、事業	医療				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名 称	所 在 地	病 床 数	備 考
	病院	頭修会すずらん病院	神戸市北区鈴蘭台西町2丁目21番5号	83	
自己資本比率 (医療法人の場合)	25.9% (平成27年度)				

2. 増床の内容に関する事項

(1) 基本的事項

名 称		医療法人社団 顕修会 顕修会すずらん病院	
開 設 の 場 所		神戸市北区鈴蘭台西町2丁目21番5号	
増 改 築 予 定 年 月			
診 療 科 目	旧	内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、腎臓内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	
	新	同上	
病 床 数	旧	83床 (一般83床・療養 床・精神 床・結核 床)	
		病床機能区分 (医療法施行規則第30条の33の2) による分類 (高度急性期 床、急性期83床、回復期 床、慢性期 床)	
	新	88床 (一般 88床・療養 床・精神 床・結核 床)	
		病床機能区分 (医療法施行規則第30条の33の2) による分類 (高度急性期 床、急性期83床、回復期 5床、慢性期 床)	
病床の利用内容 (看護単位ごとに)	旧	35室 83床 利用率 92%	室 床 利用率 %
		室 床 利用率 %	室 床 利用率 %
	新	36室 88床 利用率 93%	室 床 利用率 %
		室 床 利用率 %	室 床 利用率 %
増床の理由及び 病床数設定の考え方 ・提供する医療の内容 ・当該地域の医療事情 ・近隣医療機関との連携等		基準看護又は新看護の内容	10:1看護
		規則第30条の32第1項の規定による特例	有 (号 床) ・ 無
		地域包括ケア病棟として運用し、当院急性期患者のフォロー及び地域医療機関からの患者受け入れを実施予定。	
敷 地 の 状 況 (増築 する 場合)	面 積		
	自己所有予定 の 場 合	取得の状況	取 得 済 ・ 取得交渉中 ・ 未 交 渉
		交渉状況	
	自己所有予定 でない場合	所有者	
使用形態		賃貸借 ・ その他 ()	
他法令解除 の 必 要 性	有 ・ 無	内容 []	
建 物 の 状 況 (増築 する 場合)	構 造 概 要	造	階建 延床面積 m ²
	所有予定者		
	自己所有予定 でない場合の 使 用 形 態	賃貸借 ・ その他 []	

(3) 人員に関する事項

人 員 配 置 計 画									
職 名	必 要 数		予 定 数	確保済人員	職 名	必 要 数		予 定 数	確保済人員
	前	後				前	後		
医 師	8.3	8.6	10	10.8	薬 剤 師	3	3	3	3.7
看 護 師	31	33	50	47.3	栄 養 士			2	2
准 看 護 師			3	3.0	放射線技師			3	3
看 護 補 助 者			18	18.8	調 理 師			0	0
臨床(衛生)検査技師			2	2	事 務 員			21	21
理学療法士			10	10	そ の 他			0	0
作業療法士			0	0	計			120	121.6

(4) 人員算定根拠 (計算式)

入院患者数等

A : 1日平均入院患者数

B : Aのうち療養病床入院患者数

C : Aのうち感染症病床入院患者数

D : Aのうち精神入院患者数

E : Aのうち結核入院患者数

F : Aのうち歯科・矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科入院患者数

G : 1日平均外来患者数

H : Gのうち耳鼻いんこう科外来患者数

I : Gのうち眼科外来患者数

J : Gのうち精神科外来患者数

K : Gのうち歯科・矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科の外来患者数

L : 1日平均調剤数

M : 1日平均収容新生児数

N : 外来患者に係る取扱処方せんの数

【医師】 法第21条第1項第1号の規定による病院に基づき

$$\frac{(A-(B+D+F)) + \frac{B+D}{3} + \frac{G-(H+I+J+K)}{2.5} + \frac{H+I+J}{5} - 52}{16} + 3 = \dots \text{により、}$$

増床前 83床 (利用率92%) = A=77 および1日平均外来患者数=G≒150とし、必要数 8.3名

増床後 88床 (利用率93%) = A=82 および1日平均外来患者数=G≒150とし、必要数 8.6名

【看護師】 $\frac{A-(B+C+D+E)}{3} + \frac{C}{3} + \frac{D}{4} + \frac{E}{4} + \frac{B}{4} = X, \frac{G}{30} = Y, X+Y = \dots \text{により、}$

増床前 83床 (利用率92%) = A=77 また、1日平均外来患者数=G≒150とし、看護師必要数=31

増床後 88床 (利用率93%) = A=82 また、1日平均外来患者数=G≒150とし、看護師必要数=33

【薬剤師】 $\frac{A-(B+D)}{70} + \frac{B+D}{150} + \frac{N}{75} = \dots \text{により、}$

増床前・増床後ともに、外来患者に係る取扱処方せんの数=N≒100とし、増床如何にかかわらず、薬剤師必要数=3

看護補助者、栄養士及び管理栄養士については、規定対象外のため必要数算出不可。

(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	北区医師会における理事会にて、当院内での5床増床について議題が上がりました。 地域包括ケア病床としての運用を報告し、異議なく了承していただいております。
市保健医療審議会 医療専門分科会	病院増床事前協議書を提出させていただき、医療専門分科会にて協議を行っていただく予定となっております。
その他	

注) 地元医師会、医療専門分科会については、意見書等を添付すること。

神北医発第 69 号
平成 29 年 3 月 23 日

医療法人社団顕修会 顕修会すずらん病院
理事長 稲見 修 様

神戸市北区医師会
会長 高原 哲 夫



意見の通知について

本医師会は、貴院が平成 29 年 3 月 17 日付で願い出られました「医療法人社団顕修会 顕修会すずらん病院」の病床数を現在の 83 床より 5 床増床する件につきまして、審議の結果、次のとおり意見をお知らせします。

記

顕修会すずらん病院におかれましては、地域包括ケア病床を増床することにより、特にひよどり、西鈴蘭台地域の包括ケアシステムについて、更なる支援を行われるよう望みます。

以上

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	医療法人社団 顕修会 顕修会すずらん病院	所在地	神戸市北区鈴蘭台西町2丁目21番5号		
電話番号	078-591-6776	二次医療圏域名	神戸	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

〔 現行の急性期医療を有効に活用すべく地域包括ケア病床として運用する。
診療科目は内科・循環器内科・整形外科・外科とする。 〕

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

〔 救急受入れ台数に見合う医療体制を構築し、24時間受け入れ可能な状態を確保すべく
設備・スタッフの充足度を向上させている。 〕

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区名
神戸	神戸市北区、西区、三木市、三田市

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

〔 急性期疾患での来院における様々な患者層への対応を鑑み、回復期病床の不足を補うべく
在宅復帰に向けての足掛かりとなりうる包括ケア病床を目指す。 〕

(3) 既存の医療機関について、（特に、提供しようとする医療が同じものについて）

① 病院の状況について

名称	病床数	診療科目	役割分担等についての方策	備考

② 診療所の状況について

〔 近隣診療所等との連携は、緊急患者受け入れから社会的入院といったものまで多岐に亘っており、
紹介いただいた患者様をお返しさせていただける良好な関係性の更なる飛躍を目指せると考えます。 〕

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

〔 救急受入れ台数2000台維持 および 在宅復帰率70%→75%超 〕

2. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

〔 電子カルテ導入実績（2年経過）による業務の効率化及び情報の集約・共有・伝達を行い、ICT化推進の足掛かりとしております。 〕

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内容	具体例	医療機関名	内容	具体例
神戸中央病院	①⑤⑥	患者受け入れ及び紹介・検査依頼	アネックス湊川ホスピタル	①⑤⑥	患者受け入れ及び紹介・検査依頼
松田病院	①⑤⑥	同上			
神戸ほくと病院	①⑤⑥	同上			
春日病院	①⑤⑥	同上			
神戸リハビリテーション病院	①⑤⑥	同上			

〔注〕内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
 ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解析等診療情報の援助
 ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機関名	連携の内容	備考
カトリア六甲（老健）	患者受け入れ及び紹介	
カトリア三木（特養）	患者受け入れ及び紹介	
カトリア神戸（ケアハウス）	患者受け入れ及び紹介	
カトリアロイヤル神戸（サ高住）	患者受け入れ及び紹介	

〔注〕医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設（老人関係、精神関係、身障関係）等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加（住民の健康管理等）

〔 近隣におけるかかりつけ医院様への後方支援病院としての役割を充足させる。 〕

4. その他の特記事項

〔 〕

開設に要する資金

資金計画

(単位:千円)

項目	所要額	自己資金	借入金			備考
土地購入費	0					
設計管理費	100	100				
建物建設費	150	150				
医療機器購入費	1,500	1,500				
什器備品購入費	900	900				
保証金						
諸税	212	212				
開設時運転資金	2,000	2,000				
その他費用						
計	4,862	4,862				

返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据置期間	償還回数 回×年	利率 %		年月 ~年月	年月 ~年月	年月 ~年月	年月 ~年月	年月 ~年月
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合計				元本					
				利息					
年度末借入金残額									

損益的収支予算書 (総括)

(単位：千円)

	初年度 (28年4月～29年3月)	次年度 (29年4月～30年3月)	3年度 (30年4月～31年3月)	4年度 (31年4月～32年3月)	5年度 (32年4月～33年3月)
I 医業収益	2,160,000	2,165,000	2,168,000	2,168,000	2,170,000
II 医業費用	2,079,500	2,099,500	2,085,000	2,085,000	2,105,000
医業利益(医業損失)	80,500	65,500	83,000	83,000	65,000
III 医業外収益	39,000	39,000	40,000	40,000	43,000
IV 医業外費用	88,000	88,000	90,000	90,000	92,000
經常利益(經常損失)	31,500	16,500	33,000	33,000	16,000
V 特別利益					
VI 特別損益					
税引前当期利益(税引前当期損失)	31,500	16,500	33,000	33,000	16,000
当期純利益(当期純損失)	20,500	10,500	19,800	19,800	10,400
前期繰越利益(前期繰越損失)	15,000	35,500	46,000	65,800	85,600
当期末処分利益(当期末処理損失)	35,500	46,000	65,800	85,600	96,000

資本的収支予算書

(単位：千円)

		初年度 (年月～年月)	次年度 (年月～年月)	3年度 (年月～年月)	4年度 (年月～年月)	5年度 (年月～年月)
資本的支出	建設改良費	4,862				
	借入金(元本)償還	0				
	固定資産購入費その他	0				
	計					
財源内訳	内部資金	4,862				
	借入金	0				
	補助金	0				
	その他	0				
	計	4,862				
財源不足額		0				

